

7 月 教 育 委 員 会 会 議 会 議 録

日時：令和5年7月14日（金） 午後1時30分

場所：山口県教育庁教育委員会会室 (公開)

教 育 長	<p>それでは、ただいまより令和5年7月の教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>最初に本日の署名委員の指名を行います。 佐野委員と小崎委員、よろしくお願いします。</p> <p>それでは本日の議題の審議に入る前に、審議の公開の可否について決定したいと思います。本日の議題について、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定に基づき、非公開とすることが望ましいと考えられるものではありませんので、公開で審議することが望ましいと考えますが、いかがでしょうか。</p>
全 委 員	承 認
教 育 長	<p>それでは、本日の議題について公開で審議することといたします。</p> <p>それでは報告事項1について、教職員課から説明をお願いします。</p>
教 職 員 課 長	<p>令和6年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験（第一次試験）受験状況及び教員確保に向けた取組についてご報告します。モニターの方を御覧ください。</p> <p>はじめに、7月8日（土）、9日（日）に実施いたしました、令和6年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験の受験状況についてです。会場は、御覧の県内3会場のほか、関西会場として尼崎市総合文化センター、東京会場として東京海洋大学越中島キャンパスで試験を実施しました。</p> <p>続いて、受験状況についてです。令和6年度採用については、志願者1,066人に対し、第一次試験免除者が126人、欠席が93人で、第一次試験の受験者は847人でした。第一次試験免除者の説明については、お手元の資料2ページの中ほどの※印でお示ししておりますので、後ほど御確認ください。</p> <p>次に、令和7・8年度採用の教職チャレンジサポート特別選考についてです。志願者57人に対し、欠席者が14人で、第一次試験の受験者は43人でした。</p> <p>続いて、校種別受験者数についてです。選考区分・志願区分別の受験状況についてはお手元の資料3ページにまとめていますが、主な部分のみ、モニターの方で御説明します。</p> <p>まず、受験者数についてです。小学校、中学校は、昨年度と比べて受験者が減少しました。高等学校は受験者が増加したものの、採用見込者数も増えていますので、採用選考試験倍率、いわゆる受験倍率は小学校、中学校、高等学校いずれも低下しています。全体の倍率も、令和6年度採用は2.2倍となり、記録の残る昭和62年度採用以降では最も低い倍率となりました。なお、令和7・8年度採用の教職チ</p>

チャレンジサポート特別選考の倍率は、8.6倍となっています。

次に特別選考についてです。民間企業等に5年以上継続勤務されている方を対象とした社会人特別選考については、昨年度の倍以上の出願があり、当日も欠席なく17名全員受験いただきました。なお、全体を通して、各教科・科目ごとの人数は、第一次試験受験状況を発表するこの段階では例年公表していませんので、ご了承ください。

次に、第一次試験結果の発表及び第二次試験についてです。第一次試験の結果発表は8月2日（水）ウェブで発表することとしています。第二次試験は、小学校については8月19日から22日までの4日間、また小学校以外の志願区分（校種等）については、8月19日、20日の2日間で実施することとしております。

それではここからは、「教員確保に向けた取組」として、志願者や臨時的任用教員の募集に当たり、これまで取り組んできたことや、今後取り組んでいくことについて御説明します。

昨年度、2月の教育委員会会議で御説明したとおり、今年度は「人づくりを支える教師確保推進事業」として、3つの新規事業を行っています。

まず、1つ目として、先ほど御説明しました、教職チャレンジサポート特別選考については、教員をめざすことに不安ながらも、夢の実現にチャレンジしようとする方々をサポートする制度として、新設したものです。免許取得に必要な費用のうち、年上限26万円を補助することとしており、補助期間は2年間となっています。

新規事業の2つ目として、教職に就いていない免許保有者いわゆるペーパーティーチャー等に向けた教職入門セミナーについてでございます。現時点では、8月下旬の御覧の3日間、岩国、山口、下関の県内3会場において、山口県教育の魅力や服務、待遇、任用等に関する説明・個別相談会等を開催する予定としております。また、教壇に立ち、子どもたちと信頼関係を築く上で必要な、「教育におけるコミュニケーション能力」を養うための講義・演習を、8月28日に山口市で実施する予定としております。

新規事業の3つ目として、「魅力PR動画の作成」です。教職の魅力ややりがい、山口県教育の魅力を分かりやすく伝える動画を、8月から委託業者とともに作成する予定としております。また、9月からは現職教員や児童・生徒のインタビューの撮影を行い、来年の1月までには、9本の動画を作成し、配信する予定としております。

続いて、「各種説明会等」についてです。本県では、例年「高校生のための教職セミナー」と題して、より早い段階から教職に関心をもってもらうため、高校生を対象とした説明会を実施しています。会の中では、採用2年目の若手教員から体験談を話していただいた後、その教員を囲んでの座談会を行います。

毎年好評をいただいているこのセミナーを、今年度は8月3日・9日、午前・午後の延べ4回、各回90名程度の募集人数で実施することとしています。

続いて、「周知・情報発信」についてです。県教委ではこの度、6月に教職員採用情報LINE公式アカウントを開設し、山口県で教職に就くことに関心のある方などを対象に、採用や任用等に関する情報をダイレクトにお届けすることとしました。画面にありますように、

LINEの画面の下の方に、臨時的任用教員の登録ができるようなボタンを設けておりました、そちらをタップすれば、臨採登録の画面に移っていき、直接そこから登録できるようなくみとしております。お手元の資料には、その他の取組につきまして記載していますので、後ほど御覧ください。

それではここで、去る3月20日に放送されました、県政放送の3分番組、YAB「イキイキ！山口」「やまぐちで先生になりませんか？」を準備しておりますので、こちらを御覧ください。

いかがでしたでしょうか。先ほど新規事業として御説明しました「魅力PR動画」においても、今の番組のように、現職教員や児童生徒、あるいは学校運営協議会等地域の方々の方々の声を交えたものにしていきたいと考えています。

こちらは、近隣県の志願者数の増減をまとめたものです。志願者数が減少しているところも多い中、本県が横ばいとなっていることについて、もちろん樂觀視してはいませんが、これまでに取り組んできたことの一定の成果が表れているとも受け止めています。しかしながら、はじめに御説明しましたとおり、本県の受験者数や倍率は、このように、数年前に比べると極めて危機的な状況にあると言えます。こうした中、本県ではここまで御説明したようなさまざまな取組を行っているわけですが、養成段階の取組にも今年度改善を加えています。「山口県の教師塾」の一環である教師力向上プログラムの受講対象者について、これまでは小学校教員志望者のみでしたが、今年度から中学校教員志望者も加えることとしています。受講者は、今年度10月～2月までの全プログラムを修了した後、来年度の教師力向上プログラム特別選考を受験します。小学校、中学校それぞれの校種に応じて、実践的な指導力を身に付け、採用後活躍していただきたいと考えています。

最後に国の動向です。国においては、教員採用試験の在り方についての議論が進められており、特に、早期化や複数回実施については、御覧のような具体的な提案がなされています。現在7、8月に行っている教員採用試験を6、7月に早める、いわゆる早期化については、既に九州地方が導入することを決めています。本県を含め中四国地方については、まだ検討途中です。また、複数回実施については、大学4年生等が受験する夏の試験とは別に、大学3年生等を対象とした冬の試験を追加的に行うことが提案されています。対象校種や試験内容など、限定的なものにはなりますが、受験機会の複線化や受験負担の軽減化を図るものとして、本県でも検討する必要があると考えています。

以上、御説明しましたが、取組のさらなる充実を図りながら、教員確保に努めてまいります。

教 育 長

ただいま教職員課から報告事項1について説明がありましたが、意見、質問はありますか。

和 泉 委 員

一人でも多くの教員採用試験を受けていけるような先生が増えたらいいかなとは思いますが、そして魅力も発信していただければ

と思います。二点ほど伺います。まずは採用試験の方ですが、今回雨で公共交通機関がストップしたということの影響もあって、欠席者が少し多かったということですが、今年度がその予定も最初からされてなかったんでしょうけれども、代替措置というのは今後も考えられないんでしょうかという点です。せっかく受けようと思っても本人の責でない理由で受けられなかった人達に対する代替措置というの、今後の教員確保の視点からも本人の救済という視点でも重要なことではないかなという気がしております。

それともう一点、来年度以降の選考のあり方ですけれども、そういうような指針が出ていますので、そういう方向でまた検討が進むと思いますが、受験生の方も大変気になっているところだと思いますし、教育実習との絡みもありますので、できるだけ早期に日程等の公表ができたと思います。見通し等があれば教えていただければと思います。

教職員課長

まず、雨による欠席者の代替措置でございますけれども、それにつきましては基本的にはどこの自治体も実施をしていないということで本県でも用意をしていないというところでございます。ただ全体を中止しなければならないという場面も想定されますので、それについては今後検討していきたいと思っております。

二つ目の早期に情報提供をということですが、それはごもっともな御意見で、県では大学等と協議をする教員養成等検討協議会を設けておりますので、その中でしっかり大学への影響であるとか、そういったものを考慮しながら、できるかぎり早期に学生に伝えるようにと考えております。

佐野委員

二点ほど。まず一点目は教師力向上プログラム、こちらが今年度までは小学校の先生を希望される方を対象に、実習とか演習とかそういうプログラムをされていて、それは良いものではないかなと思っていたのですが、それを次年度から中学校採用に拡大されるということで、それも効果的なアプローチになるのではないかなと感じております。それで、やっぱり採用側も、志を持って教員を志望されている方、大学などでしっかり専門教育を受けていらっしゃる方達も多いと思いますけれども、実際に山口の教員として実務に繋ぐ、そういうプログラムになればいいんじゃないかなと思っております。ただ、やっぱり教員をめざす人にとっては、有利なプログラムになると捉えられる可能性もありますので、募集については教員になってみたいなという人が後で知らなかったよとか、そういうプログラムがあったんだねという人がいないように、参加しようと思ったけれどもなかなか参加できなかったねということにならないように、先程和泉委員がいろいろ言われましたけれども、そういうプログラムがあるのであれば早めに周知させて、そういう気持ちがある方にはぜひたくさん参加してもらおうようにしていただいて、山口県の教育を支えてくれるような、そういう方達がたくさん志望していただければなと感じております。

それともう一点は採用試験の早期化なんですけれども、多分他の企業さんと競合するので、早めに募集しておこうという動きだと思いますけれども、ただ募集の段階で直接的に競合してしまうと思うので、

<p>教職員課長</p>	<p>合格の後で辞退される方がどうしても出てくるんじゃないかなと思います。その辺ある程度、なかなか読めないところではあると思いますけれども、調整しないとイケないかなと思っております。この辺りしっかり御注意いただいて対応していただきたいなと思っております。</p> <p>ありがとうございます。まず一点目の教師力向上プログラムにつきましては、基本的に小学校の場合であれば教育学部の学生さんを対象にということによかったんですけども、今度中学校になりますと理学部であるとか人文学部であるとか、教育学部以外の学生も対象となってきますので、それは先日、第一回目の教員養成等検討協議会においても大学の方でしっかり周知をしていただくということとしております。なかなか高校生までと違ってホームルームで皆さんに配るといようなものではないので、その周知の方法は難しくございますけれども大学の方でしっかりと周知していけたらということをお願いをしていたところでございます。</p> <p>それから、早期化につきましては、もし6月7月に行えば8月の末ぐらいに合格発表をするような形になって、今、おっしゃられたように辞退ということも想定はされます。その辺りはなかなか人数が読みにくくはございますけれども、しっかり確保できるような形で対応していきたいと思っております。</p>
<p>小崎委員</p>	<p>6月7月に実施する理由は何ですか。</p>
<p>教職員課長</p>	<p>現在であれば7月8月ということで、合格発表がいくら早くても9月の中下旬、山口県であれば10月の2日、3日ということになっているのですが、それだとどうしても民間企業の方が内定も早く出ますので、なかなかいわゆる併願というか、それがしにくいというところで、教員になるのをためらう学生さんがいるのではないかと、国の方で1ヶ月前倒ししてやっておこうかという案が出てきたと承知しております。</p>
<p>木坂委員</p>	<p>最近教職員の方々への募集関係の印刷物というか、デザインでポップ体を使う頻度が高いように見受けられます。ポップ体というのは、どちらかというとなんか販売促進みたいなイメージがあって、ある意味フランクにハードルを下げておられる意図があってやっておられるのでしょうか。別にこれはいいとか悪いとかではなくて、気になりました。あと「先生になるならやまぐちで」というロゴマークですね。これをどんどん多用していくと思うんですけども、書体の問題とかデザインのカラーであるとか、一気に事業をたたみかけるような形で、いい知恵がでていっているように思います。統一のロゴとして、受験したい方々だけでなく、そうでない方々も、山口県本気だなど思えるものだと思います。できるだけ統一のロゴを使っていたきたいです。このロゴマークについて意図があるのか聞いてみたいです。</p>
<p>教職員課長</p>	<p>ありがとうございます。木坂委員のおっしゃられる通りで、一般に公式文書としては明朝体かゴシック体かということになりますけれども、できるだけそういうのを避けて、親しみやすさ、一般の方も</p>

	<p>ちろんいらっしゃいますけれども、基本的には学生がメインターゲットというか、多く受けられますので、そういった若い方にしっかりアピールしていけるようなところで書体は考えているところがございます。それからロゴマークにつきましては、現在の形、色で、教職員課の方で作成をしたものがございます。基本的にはこれを今後使っていくというようなイメージです。LINEも資料の方でLINEのチラシをお配りしておりますけれども、このQRコードで読み取っていただくとそのLINEのアカウントのロゴマークも小さいですけれどもこの「先生になるならやまぐちで」というところで示しているところがございます。</p>
木 阪 委 員	<p>今度、動画を撮られる事業者さんがいらっしゃるのであれば、このデザインがあるのでということで、上手く利用してもらいたいのかなと思います。</p>
教 職 員 課 長	<p>それと紹介をするのを忘れておりましたけれども、地域情報誌で右側にあるようなLINE公式アカウント開設しましたということで、各種情報誌を使って県内に広く周知を図っていくところがございます。</p>
教 育 長	<p>スマホで見やすいロゴマークにするようにしています。他県もみんなロゴマークをいっぱい作っているの、そこと比べたときにやまぐちという言葉が目に入るようにしたいという想いを込めて作り上げたということ聞いています。比較して見てもらったらやまぐちがいいのかなと思ってもらったらと思います。</p>
佐 野 委 員	<p>なかなか志願倍率が上がらず、苦戦していらっしゃると思います。普通の募集される時、選考するとき、最近あんまり言われなくなったんですけども、懲戒処分を受けられた方とかそういった方の履歴はしっかり確認をしていただいて、いい方を採りたいという焦りはあると思いますけれども、そこはしっかりチェックをしていただきたいなと思っています。</p>
教 職 員 課 長	<p>ありがとうございます。処分歴等につきましては、まずは志願のときに本人が記載するというようになっておりますので、そちらの方でも確認ができますし、今免許システム等もございますので、そちらの方でしっかり確認をしていきたいと考えております。</p>
和 泉 委 員	<p>昨年の倍率は下がっているということで大変残念なところですが、今回の教職チャレンジサポート特別選考にしても、また資料ですと社会人特別選考の方も昨年は7人だったのに17人と倍以上となっています。大学生の数もパイは決まっているので、いくら働きかけても劇的に伸びるということは難しいかなと思います。まあ伸びてくれるのが一番ありがたいと思います。社会人、チャレンジ、また先ほど更新講習も廃止となって免許を復活できるというような話もありましたが、そういった方々に対する働きかけを一生懸命やっただけだと、今回の教職チャレンジサポート特別選考に合格した方、優秀な方</p>

	<p>に来ていただければと思うんですが、そういった方々の成功事例とい いますか、チャレンジしている様子とかを紹介していただくとより広 い層にアピールができるかなと思いますので、その辺りも検討してい ただきたいなと思います。</p>
教職員課長	<p>ありがとうございます。今、和泉委員がおっしゃられてたように、 教職チャレンジサポート特別選考であるとか社会人特別選考の受験者 を増やしていくっていうのも1つあるかと思います。そういった意 味で先程申しましたいわゆるペーパーティーチャーを対象としたセミ ナーを県内3カ所で開催する、あるいは、先ほど8月のことだけを御 紹介いたしましたけれども、10月それから11月、12月と回数を 重ねていきたいということで、今のところ計画をしておりますので、 そういったことを通してしっかりと周知をしていきたいというように 思っております。</p>
佐野委員	<p>今、和泉委員が質問されたペーパーティーチャー向けセミナーです けれども、これは何回か機会があるんですけれども、1回参加、それ とも何か段階的に何回か受けられるとかそういうものなんでしょう か。</p>
教職員課長	<p>まずこの8月の23、24、26日について、これは同じものを3 会場で実施をします。これは受けられた方で希望者に対してこの8月 28日の山口市での講義、研修のようなものを考えています。今こち らを見ていただいて、こちらが望んでいるのは9月から早速働いてい ただけるような方が、ここで見つかればいいなというところもありま すし、またこれを受けて今度は10月、例えば、これはあくまで計画 ですけど、実際に学校訪問をして先生方の様子を見るというようなこ とも計画をしておりますので、そういった回数を経て来年の4月か ら、例えば臨時採用として働こうとか、来年の教員採用試験を受けて みようとか、そういう形に繋がっていけば良いなと、そこは段階を踏 んでというような形で計画を今立てております。</p>
佐野委員	<p>即戦力の方が、そうやって見つかる、きてくれるというのが あれば本当に良いなと思うのですが、やはり最近特に新型コロナ以 後、かなり教育環境が変わってきていると思うのです。しばらく教育 から離れていらっしゃる方とかにはまたICTのスキルを上げないとい けないとか、そういうGIGA・スクールの流れに自分は沿ってい けるのかなとか、英語なんかも飛躍的に動いてますけども、そんなと ころでちょっと不安を抱える方もいらっしゃると思うのです。就いて みたいけれども自分の力が追いついていっているのか、どの程度力が 発揮できるのかというところで少しサポートができるような、そうい ったものがあるといいなというものもあるのですけれども、いかがで しょうか。</p>
教職員課長	<p>ありがとうございます。ICTについては1人1台タブレットで先 生もタブレットを持って授業をするという形になっております。これ はもう明らかにこれまでと違っておりますので、ICTについては先</p>

	<p>ほど申した、今後の研修の中でそういったコマを設けようというのは、現在計画をしているところでございます。</p>
小 崎 委 員	<p>社会人特別選考の志願者とか、また教職チャレンジサポート特別選考の志願者の方達が何で志願しようと思ったのかとかが個人的にですが興味があります。多分今から面接ですかね、そういうところでまた聞かれるんだと思うんですけども、何か知りたいなという気持ちがあります。今後のことも考えるととても参考になるんじゃないかなと思います。</p>
教 職 員 課 長	<p>面接もありますし、志願リストもありますので、それでしっかり把握等はできると思っています。先程説明しました3月の教職チャレンジ説明会のときに、この特別選考を実施するという事で、説明会を希望者でその分科会のような形でやったのですが、そのときのその説明会への参加者の言葉としては、やはり教育に携わってみたいと思っていたけど、今までそういう機会がなかった、山口県がそういったチャンスを与えてくれるのでぜひ、積極的にチャレンジしてみたいであるとか、やはりそういう想いであるとか、実際に社会人経験で働いてきたことをぜひ子どもたちに伝えていきたい、そういった想いをお持ちの方がたくさんいらっしゃいましたので、そういう熱い思いで受け取っていただきたいと思っています。</p>
教 育 長	<p>それでは、報告事項1については、以上のとおりとします。 次に、次回の教育委員会会議の日程について、教育政策課から説明をお願いします。</p>
教育政策課長	<p>次回の教育委員会会議は、令和5年8月18日（金） 午後2時を予定しております。よろしくをお願いします。</p>
教 育 長	<p>最後に御報告がございます。額原委員は任期満了に伴いまして、明日、7月15日をもちまして、教育委員を御退任されます。本日が最後の教育委員会会議となりますので、一言、御挨拶をお願いしたいと思います。額原委員をお願いします。</p>
額 原 委 員	<p>この度4年で退任することとなりました。山口県の教育はさまざまな課題を抱えている状況ではありますが、皆様がこれからも教育の改善に向けて、御尽力されていくことを祈念しております。大変お世話になりました。ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>額原委員、大変お世話になりました。ありがとうございました。 以上で7月の教育委員会会議を終わります。</p>